

第5章 健康福祉部

1. 保健衛生
2. 災害見舞金
3. 福祉センター
4. ふれあいプラザ
5. 地域医療
6. 市営霊園
7. 生活保護
8. 高齢者福祉
9. 高齢者医療
10. 介護保険
11. 心身障害者福祉
12. 各種福祉手当
13. 保健センター
14. 保健事業
15. 国民健康保険
16. 国民年金

1. 保 健 衛 生

(1) 原爆被爆者見舞金支給事業

目 的 原爆被爆者に対し、見舞金を支給します。
 対 象 県知事の認定を受けた被爆者手帳を保持する者
 内 容 月額 2,000円

年 度	人 数	給 付 額
23	73 人	1,708,000 円
24	72	1,674,000
25	69	1,610,000

(2) 献血推進事業

献血思想の普及に努力するとともに、千葉県赤十字血液センターの事業に協力し、輸血用血液の確保に努めています。

年 度	200ml献血者数	400ml献血者数	実施回数
23	913 人	2,792 人	123 回
24	766	2,752	114
25	545	2,052	82

(3) 狂犬病予防対策事業

狂犬病の発生を予防するため、犬の登録及び狂犬病予防注射等を実施しています。

(単位：頭)

年 度	登 録	新 規 登 録	注 射	捕 獲
23	8,685	684	6,516	14
24	8,870	707	6,498	25
25	8,982	737	6,544	25

2. 災害見舞金

地震・火災及び風水害等の被災者で、八千代市に居住し、住民登録済みのものを対象に見舞金を支給します。ただし、災害救助法が適用されたとき、及び故意または重大な過失があった場合を除きます。

区 分	23		24		25	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
全 焼 (壊)	7件	350,000円	2件	100,000円	3件	150,000円
半 焼 (壊)	25件	625,000円	5件	125,000円	1件	25,000円
部 分 焼 (壊)	562件	8,430,000円	38件	570,000円	9件	135,000円
床 上 浸 水	2件	50,000円			176件	4,400,000円
消火による冠水			13件	195,000円	1件	15,000円
死 亡	1件	50,000円	1件	50,000円	2件	100,000円
1か月以上入院加療を要する負傷をしたとき					1件	10,000円
合 計	597件	9,505,000円	59件	1,040,000円	193件	4,835,000円

※部分壊は平成24年4月1日改正以前のもの

3. 福祉センター

福祉センターは、老人福祉推進の拠点となる老人福祉センターと地域ぐるみ福祉推進の拠点となる地域福祉センターを併設した複合施設です。

(1) 施設の概要

所 在 地	開設年月日	構 造	建物面積	施 設 内 容
大和田新田 312-5	昭和59年 3月1日	鉄筋 コンクリート 造6階建	2,477.04 m ²	老人福祉センター 機能回復訓練室・図書室 相談室・教養室・会議室 浴室・作業室 地域福祉センター 録音室・相談室・研修室 会議室

※ 指定管理者：八千代市社会福祉協議会

(2) 利用状況

年 度	老 人 福 祉 セ ン タ ー				地 域 福 祉 セ ン タ ー				合 計
	主催講座	サークル	老人関係 団 体	個 人	社会福祉 協 議 会	身体障害 者福祉会	他の福祉 団 体	その他	
23	3,728	33,730	5,155	25,126	15,171	2,335	1,258	31,011	117,514
24	4,627	32,704	5,684	27,566	13,787	2,479	285	30,561	117,693
25	1,884	29,716	4,659	28,588	19,360	2,374	186	32,612	119,379

・利用者数

施設名	利用者数		
	23年度	24年度	25年度
温水プール	47,227人 (8,005人)	50,836人 (9,378人)	49,703人 (9,235人)
浴室	40,891人 (4,900人)	46,442人 (5,384人)	45,221人 (5,407人)
アスレチック室	17,228人	20,020人	20,205人
スポーツ室	10,564人	10,982人	10,883人
体育室	10,293人	11,990人	12,103人
大広間	16,439人	17,631人	16,065人
娯楽室	6,218人	6,995人	7,020人
会議室	6,475人	13,675人	14,363人
福祉集会室	1,042人	1,495人	1,466人
料理講習室	1,437人	1,695人	1,564人
医務室	8人	3人	9人
多目的広場	0人	67人	84人
計	157,822人	181,831人	178,686人

※施設の重複利用含む。()は無料者数。

5. 地域医療

(1) やちよ夜間小児急病センター

やちよ夜間小児急病センターは、平成18年12月8日の東京女子医科大学八千代医療センター開院と同時に、医療センター小児科内に設置され、小児の救急患者が集中する夜間に初期救急医療を専門に行うもので、地域の小児科医も診療に参加・協働しています。

名 称	やちよ夜間小児急病センター
場 所	八千代市大和田新田477番地96 (東京女子医科大学八千代医療センター 外来棟1階 小児科外来)
診 療 日	毎 日 午後6時～午後11時

診 療 状 況

区 分	24 年 度	25 年 度
診 療 日 数	365日	365日
患 者 数	8,240人	7,742人
一 日 平 均 患 者 数	22.6人	21.2人

(2) 夜間急病待機医・休日当番医

夜間や休日における急病患者に対する診療を医療機関が輪番で行いました。

なお、平成19年度より休日当番医については、歯科診療も実施しています。

区 分	夜 間 急 病 待 機 医	休 日 当 番 医
診 療 科 目	内科系・外科系 (2医療機関/日)	内科小児科・外科・歯科・その他 (5医療機関/日)
診 療 日	毎 日 (平日) 午後7時～翌午前9時 (土・日曜、祝日、年末年始) 午後5時～翌午前9時	日曜、祝日、年末年始 午前9時～午後5時
診 療 日 数	365日	71日
延 患 者 数	7,237人	9,570人

(3) 東京女子医科大学八千代医療センター

東京女子医科大学八千代医療センターは、八千代市の地域医療を支援する中核病院として、地域の医療機関と連携し、市の医療提供体制の向上を図るとともに、急性期病院としての役割を担っています。

- ① 所在地 八千代市大和田新田477番地96
- ② 病床数 357床
- ③ 診療科 内科（呼吸器、糖尿病・内分泌代謝、腎臓、消化器、神経、血液・腫瘍、リウマチ膠原病、循環器）、外科（呼吸器、消化器、乳腺・内分泌、小児）、母性胎児科、新生児科、小児科、発達小児科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科・小児眼科、婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科口腔外科、救急科、画像診断・I V R科、麻酔科、女性科、心身医療科、皮膚科、内視鏡科、病理診断科、心臓血管外科
- ④ 特徴
 - ア) 第3次救急医療機関に準じた救急医療を、24時間、365日行っています。また、準夜帯（診療時間終了後から深夜までの間）の小児初期救急医療として、「やちよ夜間小児急病センター」を医療センター内に設置しています。これにより、小児救急医療は1次救急から3次救急までを、同一の場所で行っています。なお、千葉県から小児医療連携拠点病院としての指定を受けています。
 - イ) 地域医療の中核病院として、手厚い医療を提供するため、多くの専門医や看護師、各種検査技師、臨床工学士、薬剤師、栄養士などの職員が配置されています。
 - ロ) リスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療などを行う「総合周産期母子医療センター」や、小児のP I C U（小児集中治療室）を設置しています。
 - ハ) 災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院として、地域災害拠点病院として指定されています。
 - ニ) 地域の医療機関を支援する地域医療支援病院として千葉県から承認されています。
 - ホ) 市民向けに医療情報の提供や健康講座などを開催しています。

(4) 看護師等修学資金貸付

看護師等の養成施設の在学者で将来市内の医療機関等で看護師等の業務に従事する意思がある者を対象に、無利子で修学に必要な資金を貸し付けることによって、市内における看護師等の確保と質の向上を図りました。

養成施設種別	貸付額	平成24年度貸付決定人数	平成25年度貸付決定人数
大学	50,000円/月	5人	3人
看護師養成所（3年課程）	30,000円/月	3人	1人
看護師養成所（2年課程）		7人	4人
准看護師養成所		3人	2人
認定看護師教育課程	1,000,000円	-	5人
合計		18人	15人

6. 市 営 霊 園

(1) 施設の概要

所在地	開設年月日	敷地面積
小池1521-1	平成22年4月16日	18,964.8㎡

(2) 施設内容

- ・芝生墓地 1,328基 (1基あたり3㎡ 幅1.2m×奥行2.5m)
- ・合葬式墓地 鉄筋コンクリート造 (地上2階・地下1階建)
延床面積 571.39㎡
1体用納骨壇：600基、2体用納骨壇：660基(1,320体)
計1,920体を整備
※今後2,340体分を整備予定。合計で4,260体

(3) 利用時間

午前8時30分～午後4時30分 (お盆・お彼岸時は延長することがあります。)

(4) 利用許可数

(単位：基)

施設区分	23年度末	24年度末	25年度末
芝生墓地	1,220	1,305	1,327
合葬式墓地 (1体用)	73	102	139
合葬式墓地 (2体用)	271	338	392

7. 生活保護

何らかの原因で生活に困窮し、自分で生活を維持できない者に対し、国の責任において健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とし、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助のうち生活状態に応じて、1つあるいは2つ以上の扶助が行われます。

(1) 保護の動向

区分 年度	1 カ 月 当 り 平 均 保 護 人 員 等							
	被保護 世帯数	被保護 人員	保護率	生活扶助 人員	住宅扶助 人員	教育扶助 人員	医療扶助 人員	介護扶助 人員
23	1,326	1,915	10.1	1,656	1,643	177	1,671	153
24	1,397	2,000	10.5	1,707	1,731	176	1,788	174
25	1,438	2,035	10.7	1,726	1,752	159	1,826	204

被保護世帯数・被保護人員については停止世帯・人員を含む。

(2) 保護世帯類形別構成

各年3月末現在 (単位：%)

区分 年度	高齢世帯	母子世帯	傷病・障害世帯	その他世帯	計
23	43.7	7.7	38.0	10.6	100.0
24	46.0	6.3	35.4	12.3	100.0
25	48.3	5.6	34.8	11.3	100.0

(3) 保護の開始原因

(単位：件)

区分 年度	傷 病		収入減少	世帯主の死亡 離別・遺棄	高齢・障害	その他	合 計
	世帯主	世帯員					
23	46	4	164	9	24	58	305
24	61	4	139	9	19	64	296
25	89	1	103	7	34	52	286

(4) 保護の廃止原因

(単位：件)

区分 年度	傷 病 治 癒		死 亡	収入増	他 法	転 出	その他	合 計
	世帯主	世帯員						
23	2	0	57	67	0	9	86	221
24	1	0	88	72	16	14	81	272
25	1	0	54	53	7	23	75	213

8. 高齢者福祉

(1) 八千代市の高齢人口

高齢人口の推移（外国人登録を含む）

年度	総人口	65歳以上（比率）	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
23	192,884人	40,136人（20.8%）	12,629人	11,370人	8,133人	8,004人
24	192,951人	42,211人（21.9%）	13,079人	11,795人	8,664人	8,673人
25	193,332人	44,138人（22.8%）	13,181人	12,616人	9,043人	9,298人

(2) 生きがい対策

① ふれあい大学校

新しい知識と教養を高め、広く仲間づくりをはかりながら、生涯にわたって充実した生活を営めるよう社会環境の変化に順応する能力を再開発するために、学習の場を提供することを目的に開設し、運営しています。

年度	定員	応募者数	卒業者数	実施日数	総事業費
23	150人	249人	141人	60日	1,018,410円
24	150人	232人	141人	57日	1,006,750円
25	150人	221人	132人	55日	990,750円

② 老人クラブ運営費補助金

老後の生活を健全で豊かなものとするため、教養の向上、健康の増進及びレクリエーション等の活動を行っており、その事業を推進するため、単位クラブ及び長寿会連合会に対し、運営費補助金を交付しています。

区分 年度	加入対象者	年度末 会員数	加入率	単 位 ク ラ ブ 数	1クラブ当りの 補助金額	補助金額 合計	長寿会連合会 補助金
23	54,381人	3,349人	6.2%	65クラブ	会員数規模に より 50,000円 ～130,000円	5,050,000円	3,231,000円
24	55,455人	3,204人	5.8%	61クラブ	会員数規模に より 50,000円 ～130,000円	4,980,000円	3,180,000円
25	56,278人	3,105人	5.5%	59クラブ	会員数規模に より 50,000円 ～130,000円	4,730,000円	2,965,700円

③ シルバー人材センター運営費補助金

定年退職後において、臨時的かつ短期的な就業を通じて、自己の労働能力を活用し、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対して、就労機会の増大と福祉の増進をはかるとともに、その者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する目的を掲げた公益社団法人八千代市シルバー人材センターに対し、運営費補助金を交付しています。

年度	年度末 会員数	総事業費	補助金額	契約金額	就業率	1日1人当り の平均配分金
23	686人	373,908,425円	27,400,000円	287,707,757円	92.7%	3,372円
24	580人	330,743,411円	23,375,892円	262,893,151円	94.8%	3,411円
25	591人	325,065,091円	25,012,162円	253,944,576円	94.2%	3,387円

(3) 高齢者在宅福祉対策

高齢者が寝たきりにならないように（介護予防）、自立した生活ができるように（生活支援）、また寝たきりの高齢者を介護している家族を支援（家族介護支援）し、高齢者が在宅で生活できるような対策を重点とした事業を行いました。

① 高齢者ホームヘルプサービス

高齢者が自立した生活ができるように、ホームヘルパーを派遣し、調理・掃除・洗濯等の家事援助を中心とした日常生活の援助を行いました。（介護保険法の要介護認定における非該当者を対象）

区分 年度	派遣実人員	派遣延回数	派遣延時間
23	10人	457回	553 時間
24	10人	475回	627 時間
25	7人	274回	306時間30分

② 生きがいデイサービス

交流の機会や外出の機会の少ない、家にこもりがちな高齢者に対して、施設などに通所の方法により日常動作訓練・趣味活動等の各種サービスを提供しています。（介護保険法の要介護認定における非該当者を対象）

区分 年度	利用実人員	利用延回数	センター数	事業費
23	6人	89回	4カ所	498,400円
24	1人	11回	1カ所	61,600円
25	2人	57回	2カ所	319,200円

③ 緊急一時保護

緊急時に適当な保護者がいない場合に、一時的に施設入所をさせて、保護を行いました。（介護保険法の要介護認定を受けた者以外を対象）

区分 年度	利用実人員	利用延日数	事業費
23	1人	22日	300,960円
24	1人	6日	82,080円
25	1人	1日	13,680円

④ ねたきり老人福祉手当

寝たきりの高齢者に対し、手当を支給することにより、高齢者の生活の安定を図り、在宅生活の支援を行いました。

区分 年度	支給月額	支給実人数	支給延月数	総支給額
23	2,500円	33人	268月	670,000円
24	2,500円	30人	241月	602,500円
25	2,500円	26人	213月	532,500円

⑤ ひとり暮らし高齢者数

民生委員による実態把握に基づく「ひとり暮らし高齢者生活状況票」により、登録のあるひとり暮らしの高齢者数です。

区分 年度	年度末登録数	高齢人口数	高齢人口に 占める割合
23	2,140人	40,136人	5.3%
24	2,177人	42,211人	5.2%
25	2,202人	44,138人	5.0%

⑥ 配食サービス

虚弱、疾病等により日常生活に支障があり、食事の調理困難なひとり暮らしの高齢者等に食事を配食することにより、健康の保持を図るとともに、安否確認を行い、生活の支援を行いました。

区分 年度	年度末登録数	配食延件数	1食単価	総事業費	
24	まごころ弁当	328人	31,019件	600円	9,305,700円
	ワタミ	324人	53,204件	540円	15,961,200円
	ケアパートナー		2,807件	800円	842,100円
	邂逅	146人	19,675件	700円	5,902,500円
	宅配クック123		1,732件	598円	519,600円
	シルバーライフ	59人	3,031件	525円	909,300円
25	まごころ弁当	291人	26,670件	600円	8,001,000円
	ワタミ	366人	66,357件	540円	19,907,100円
	邂逅	152人	17,959件	700円	5,387,700円
	シルバーライフ	131人	15,424件	525円	4,627,200円
	食宅便	36人	2,706件	567円	811,800円

⑦ ひとり暮らし老人緊急通報システム設置

ひとり暮らしの高齢者等が急病等の緊急時に連絡が取れる装置を設置し、早期に必要な措置を取り、安全を確保し、生活の支援を行いました。

区分 年度	年度末 設置件数	設置延件数	総事業費
23	726人	8,649件	26,589,957円
24	748人	8,862件	27,632,918円
25	737人	9,059件	28,715,223円

※設置費用・使用料無料

(4) 施設福祉対策

身体上・精神上または環境上の事情及び経済的事情により、居宅において生活が困難な高齢者に対して、入所の措置を行いました。

区分 年度	措置開始件数	措置廃止件数	年度末措置数	措置費	費用徴収金額
23	4人	3人	51人	107,152,373円	16,715,758円
24	9人	12人	48人	100,953,093円	15,326,271円
25	6人	4人	50人	99,711,625円	17,748,006円

9. 高齢者医療

後期高齢者医療制度

概要 国民の高齢期における適切な医療の確保を図るため、老人保健制度を継承する医療制度として設けられたものである。都道府県単位に全市町村が加入する広域連合において制度の運営を行い、被保険者の窓口事務と保険料の徴収を市が行うことで、財政の安定と運営の効率化を目指している。

対象 75歳以上と65歳以上で一定の障がいがある方で加入を希望する人

① 被保険者数の状況

区分 年度	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳	計
25	57人 (1)	262人 (6)	8,846人 (993)	5,202人 (508)	2,610人 (220)	989人 (71)	281人 (13)	42人 (1)	18,289人 (1,813)

※下段の()は、現役並み所得者(3割負担者)の人数(内数)です。

② 保険料率等の状況

区分 年度	所得割	均等割額					
		軽減	2割軽減	5割軽減	8.5割軽減	9割軽減	
25	7.29%	5割軽減	37,400円	29,900円	18,700円	5,600円	3,700円

③ 収納額等の状況

区分	年度	平成25年度
現 年 度 分	調 定 額	1,382,965,050円
	収 入 済 額	1,378,118,050円
	還 付 未 済 額	1,669,300円
	不 納 欠 損 額	0円
	収 入 未 済 額	6,516,300円
	収 納 率	99.53%

10. 介護保険

介護保険は、本人や家族が抱える介護の不安や負担を解消し、介護を必要になった人が安心して自立した生活を送れるように社会全体で支えていくための制度です。

(1) 被保険者の状況

区分 年度	全 市 人 口	1 号 被 保 険 者	
		被 保 険 者 数	割 合
23	192,884人	40,147人	20.8%
24	192,951人	42,261人	21.9%
25	193,332人	44,174人	22.8%

(2) 介護保険料

段階	対象となる方	1月あたりの 介護保険料	年額保険料 (24年度～26年度)
第1段階	・生活保護受給者 ・老齢福祉年金受給者で、本人及び世帯全員が住民税非課税	1,765円	21,180円 (基準額×0.50)
第2段階	・本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	1,765円	21,180円 (基準額×0.50)
第3段階	・本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超えて120万円以下	2,295円	27,540円 (基準額×0.65)
第4段階	・本人及び世帯全員が住民税非課税で、上記以外	2,647円	31,770円 (基準額×0.75)
第5段階	・本人が住民税非課税(同一世帯内に住民税課税者がいる場合)で、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下	3,177円	38,130円 (基準額×0.90)
第6段階	・本人が住民税非課税(同一世帯内に住民税課税者がいる場合)で、上記以外	3,530円	42,360円 (基準額)
第7段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が125万円未満	4,060円	48,720円 (基準額×1.15)
第8段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が125万円以上190万円未満	4,589円	55,070円 (基準額×1.30)
第9段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が190万円以上300万円未満	5,471円	65,660円 (基準額×1.55)
第10段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が300万円以上400万円未満	5,825円	69,900円 (基準額×1.65)
第11段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が400万円以上500万円未満	6,354円	76,250円 (基準額×1.80)
第12段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が500万円以上600万円未満	7,060円	84,720円 (基準額×2.00)
第13段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が600万円以上700万円未満	7,766円	93,200円 (基準額×2.20)
第14段階	・本人が住民税課税で、合計所得金額が700万円以上	8,472円	101,670円 (基準額×2.40)

※月額額は年額を12か月で割り返して算出していますが、端数の関係上、年額と一致しない場合があります。

(3) 要介護認定状況

要介護（要支援）認定者数（平成26年3月末）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	計	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	合計
第1号被保険者	873	756	1,629	0	1,187	934	690	765	522	4,098	5,727
65歳以上75歳未満	171	137	308	0	191	149	112	126	86	664	972
75歳以上	702	619	1,321	0	996	785	578	639	436	3,434	4,755
第2号被保険者	12	22	34	0	27	31	28	29	21	136	170
総 数	885	778	1,663	0	1,214	965	718	794	543	4,234	5,897

居宅介護（介護予防）サービス受給者数

（単位：件）

	要支援 1	要支援 2	計	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	合計
第1号被保険者	6,806	6,664	13,470	0	10,289	8,634	5,274	4,838	3,117	32,152	45,622
第2号被保険者	83	181	264	0	237	370	250	240	237	1,334	1,598
総 数	6,889	6,845	13,734	0	10,526	9,004	5,524	5,078	3,354	33,486	47,220

地域密着型（介護予防）サービス受給者数

（単位：件）

	要支援 1	要支援 2	計	経過の 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	合計
第1号被保険者	66	84	150	0	664	735	559	671	549	3,178	3,328
第2号被保険者	0	0	0	0	0	8	16	1	24	49	49
総 数	66	84	150	0	664	743	575	672	573	3,227	3,377

施設介護サービス受給者数

（単位：件）

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
第1号被保険者	5,284	3,353	84	8,721
第2号被保険者	106	58	1	165
合 計	5,390	3,411	85	8,886

(4) 地域支援事業

① 介護予防事業

ア. 二次予防事業対象者把握事業（生活機能評価）

生活機能が低下し、要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者を早期に発見し、介護予防への効果的な取り組みにつなげることを目的とし、要支援・要介護者を除く第1号被保険者を対象に、生活機能チェック及び検査等を実施した。

生活機能チェック実施者	10,864人
生活機能検査実施者	1,710人
二次予防事業対象者	1,558人

イ. 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対し、有酸素運動、簡易な器具等を用い運動等を実施する「運動器の機能向上事業」及び口腔機能の向上と栄養改善（栄養指導等）を加えた「総合介護予防事業」を実施した。

事業名	参加人数	参加延べ人数
運動器の機能向上事業	142人	1,231人
総合介護予防事業	119人	1,089人
合計	261人	2,320人

※ 運動器：身体活動を担う筋、骨格、神経系の総称

ウ. 訪問型介護予防事業

二次予防事業対象者のうち、閉じこもり等で通所型介護予防事業への参加が困難な人について、地域包括支援センターの看護職が訪問し、必要な相談・指導等を実施した。

訪問実人数	訪問延人数
2人	3人

エ. 一次予防事業

地域の高齢者が介護予防に関する知識を習得し、自発的に介護予防への取組が行えるよう、地域包括支援センターが介護予防教室を開催した。

教室開催数	参加延人数
54回	697人

② 地域包括支援センター運営

ア. 地域包括支援センターの設置

地域包括ケアの拠点として、市内に6箇所の地域包括支援センターを設置。

生活圏域名	委託先	センター設置場所
勝田台	社会福祉法人翠燿会	勝田台2-3-1
阿蘇	社会福祉法人八千代美香会	米本2208-3
村上	社会福祉法人愛生会	村上団地2-7-104
八千代台	社会福祉法人悠久会	八千代台西1-7-2 山崎ビル3階B号室
高津・緑が丘	社会福祉法人清明会	高津団地1-13-112
大和田 睦	市直営	大和田新田312-5 市役所内

イ. 地域包括支援センター活動実績

各センターにおいて、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を常勤配置し、相談対応等を実施。

事業名	延べ対応数
介護予防ケアマネジメント	29,043 件
総合相談支援	18,723 件
権利擁護	1,873 件
包括的継続的ケアマネジメント支援	1,363 件
合計	51,002 件

(5) 地域密着型施設事業

① 認知症高齢者グループホームを整備する事業者に対し、開設6か月前の準備に必要な経費を補助した。

団体名	施設名	補助金額
社会福祉法人愛生会	グループホームなごみ	10,800,000 円

② 小規模多機能型居宅介護事業所を整備する事業者に対し、開設6か月前の準備に必要な経費を補助した。

団体名	施設名	補助金額
社会福祉法人愛生会	小規模多機能居宅介護なごみ	3,000,000 円
社会福祉法人八千代美香会	小規模多機能ホームアゼリアガーデン	3,000,000 円

11. 心身障害者福祉

(1) 身体障害者福祉

① 身体障害者の現況

身体障害者手帳所持者は次のとおりです。

平成26年4月1日現在(単位:人)

障害部位		級別	合 計	1	2	3	4	5	6	
視 覚	18歳以上		360	101	120	29	28	54	28	
	18歳未満		4	3	1	0	0	0	0	
	小計		364	104	121	29	28	54	28	
聴覚・平衡	18歳以上		313	3	104	43	63	4	96	
	18歳未満		12	0	0	4	3	0	5	
	小計		325	3	104	47	66	4	101	
音声・言語 ・そしゃく	18歳以上		70	0	0	54	16			
	18歳未満		0	0	0	0	0			
	小計		70	0	0	54	16			
肢体不自由	18歳以上		2,852	205	685	755	888	186	133	
	18歳未満		81	60	8	9	4	0	0	
	小計		2,933	265	693	764	892	186	133	
内 部	直腸・ぼうこう	18歳以上	234	0	0	14	220			
		18歳未満	2	0	0	2	0			
	小 腸	18歳以上	5	1	0	0	4			
		18歳未満	1	1	0	0	0			
	心 臓	18歳以上	879	614	0	121	144			
		18歳未満	17	9	0	6	2			
	呼吸器	18歳以上	82	14	0	41	27			
		18歳未満	2	1	0	1	0			
	腎臓	18歳以上	420	406	0	12	2			
		18歳未満	0	0	0	0	0			
	免疫機能	18歳以上	32	10	13	9	0			
		18歳未満	0	0	0	0	0			
	肝臓機能	18歳以上	5	3	1	1	0			
		18歳未満	3	3	0	0	0			
	小計		1,682	1062	14	207	399			
	合計	18歳以上		5,252	1,357	923	1079	1,392	244	257
		18歳未満		122	77	9	22	9	0	5

② 身体障害者手帳新規交付状況

年度	新規手帳交付者数
23	367人
24	392人
25	426人

(2) 知的障害者福祉

① 知的障害者の現況

18歳以上の知的障害者は次のとおりです。

平成26年4月1日現在

区 分	合計	重 度	中 度	軽 度
療育手帳所持者数	582	268人	141人	173人

(3) 障害者の施設系サービス利用者数

平成26年4月1日現在(単位:人)

種 別	等 級	合 計	内		
			身 体	知 的	精 神
入所・ 居住系 サービス	療 養 介 護	8	8	0	0
	施 設 入 所 支 援	94	20	73	1
	グ ル ー プ ホ ー ム	60	3	46	11
	生 活 ホ ー ム	3	0	3	0
	職 親	1	0	1	0
	小 計	166	31	123	12
サ 日 中 活 ビ 動 ス 系	生 活 介 護	190(113)	34(19)	156(94)	0
	就 労 移 行 支 援	33(6)	2(1)	13(3)	18(2)
	就 労 継 続 支 援	88(20)	11(2)	47(13)	30(5)
	自 立 訓 練	9(3)	1	6(2)	2(1)
	地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー	18	1	1	16
	福 祉 作 業 所	62	0	62	0
小 計	400(142)	49(22)	285(112)	66(8)	
合 計	566(142)	80(22)	408(112)	78(8)	

※ () 内は、日中活動サービス及び入所系サービスの併用利用者数です。

(4) 精神障害者保健福祉

① 精神障害者の概況

精神保健福祉手帳所持者数及び通院公費負担患者数

平成26年4月1日現在

精神保健福祉 手帳所持者数	合計	1級	2級	3級
	921人	208人	515人	198人
自立支援医療患者数	2,084人			

② 精神障害者医療費助成事業

目的 精神障害者の医療費の一部を助成します。

対象 精神障害者のため1か月以上の入院療養をしている者の保護者(所得制限有)

内容 医療費自己負担分の4分の1に相当する額(月額10,000円が限度)

年度	人数	助成額
23	43人	2,719,661円
24	44人	2,836,216円
25	40人	2,819,315円

(5) 心身障害児の現況

① 身体障害児数

平成26年4月1日現在(単位:人)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚	3	1	0	0	0	0	4
聴覚・平衡機能	0	0	4	3	0	5	12
音声・言語機能・そしゃく	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	60	8	9	4	0	0	81
内部	14	0	9	2			25
合計	77	9	22	9	0	5	122

② 知的障害児数

平成26年4月1日現在(単位:人)

合計	区分	重度				中度	軽度
		㊦	A ₁	A ₂	小計	B ₁	B ₂
382		42	62	2	106	87	189

③ 身体障害児施設等の入所状況

平成26年4月1日現在(単位:人)

区分		年齢別	計	0歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～17歳
在宅 の 状 況	幼稚園		2人	2人	—	—	—
	学校普通		27	—	15	9	3
	学校特学		8	—	4	4	0
	特別養護学校		51	—	29	13	9
	盲学校		3	—	1	1	1
	聾学校		3	1	1	0	1
	(小計)		94	3	50	27	14
	通園施設		13	13			
	保育園		2	2			
	(小計)		15	15			
	その他		0	0	0	0	0
	在宅		12	12	0	0	0
	(小計)		12	12	0	0	0
	入所施設		1	0	1	0	0
合計		122	30	51	27	14	

④ 知的障害児施設等の入所状況

平成26年4月1日現在(単位:人)

区分		年齢別	計	0歳～5歳	6歳～11歳	12歳～14歳	15歳～17歳
在宅 の 状 況	幼稚園		0人	0人	—	—	—
	学校普通		26	—	14	7	5
	学校特学		131	—	75	56	0
	特別養護学校		173	—	39	43	91
	(小計)		330	0	128	106	96
	通園施設		33	33			
	保育園		14	14			
	(小計)		47	47			
	その他		0	0	0	0	0
	在宅		0	0	0	0	0
	(小計)		0	0	0	0	0
	入所施設		5	1	1	3	0
	合計		382	48	129	109	96

(6) 在宅対策

① 重度心身障害者(児)医療費助成

身体障害者手帳1～2級、療育手帳(A₁～A₂)及び重度の重複障害者(児)が医療給付を受けた場合に各健康保険法に基づく自己負担相当額を助成しています。

年度	国民健康保険		社会保険		後期高齢者医療	
	支給件数	支給額	支給件数	支給額	支給件数	支給額
23	14,296件	82,756,372円	8,883件	47,311,134円	24,077件	78,992,835円
24	15,969件	87,530,072円	8,813件	47,234,784円	24,386件	80,977,122円
25	17,040件	91,306,412円	9,544件	47,176,015円	24,801件	84,763,835円

② 心身障害者扶養年金

心身障害者を扶養する者が生存中一定の掛金を拠出し、その死亡又は疾病を保障事故として当該心身障害者に終身年金を支給する事業です。

年度	加入件数	支給件数
23	36件	30件
24	37件	31件
25	35件	32件

(7) 福祉作業所

事業の目的・内容 知的障害者の心身の発達を促進し、社会的自立の助長を図るための訓練等を実施します。

設置者 八千代市

指定管理者 特定非営利活動法人八千代市手をつなぐ親の会

名称	所在地	開設年月日	定員	敷地面積	建物面積
八千代市第1福祉作業所	米本1517番地1	昭和58年9月1日	20名	1,057㎡	209㎡
八千代市第2福祉作業所	米本1523番地	昭和62年4月1日	〃	1,751㎡	432㎡
八千代市第3福祉作業所	高津1047番地1	平成5年4月1日	25名	1,462㎡	605㎡

(8) 八千代市障害者福祉センター

事業の目的 障害者の自立及び社会参加を支援することにより、障害者の福祉の増進を図ります。

事業の内容 趣味的講座、スポーツ、録音機器を使用するボランティアなどを行う障害者団体の活動の場並びに、障害のある方及びその家族の交流の場を提供します。

設置者 八千代市

所在地 ゆりのき台2丁目10番地

開設年月日 平成20年11月11日

開所時間 午前9時から午後5時まで

休所日 日曜日、祝日及び年末年始

(9) 児童発達支援センター

児童福祉法による、医療型児童発達支援センター及び福祉型児童発達支援センターを設置し、障害児の療育、また在宅の障害児の外来相談及び巡回相談などの療育に関する総合的なセンターとしての運営を行っています。

施設の概要

所在地	開設年月	敷地面積	建物面積	構造
米本1514番地の1	昭和48年4月（療育1） 昭和49年5月（療育2）	4,456.39㎡	894.81㎡	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 平屋建

① 医療型児童発達支援センター（療育1）

肢体不自由児を家庭から通わせて、保護者とともに適切な医療及び機能訓練、また生活指導を行い、児童の発達を促進するとともに、保護者には家庭における訓練と養育を支援することを目的とした通園施設です。

I 利用状況の推移 (単位：人)

区分 年度	実人員	延人員
23	17	155
24	27	273
25	23	241

II 障害及び年齢の状況 (単位：人)

区分 年度	実人員	障害の状況			年齢の状況			
		軽度	中度	重度	3歳未満	3歳児	4歳児	5歳児
23	17	2	1	14	7	4	3	3
24	27	3	6	18	15	3	5	4
25	23	7	7	9	10	5	3	5

III 退園後の進路 (単位：人)

区分 年度	保育園	幼稚園	特別支援学級	特別支援学校	転出	療育2	在宅	その他	計
23	2	0	0	3	0	1	0	0	6
24	0	0	0	4	4	2	0	0	10
25	3	1	0	5	1	0	0	1	11

② 福祉型児童発達支援センター（療育2）

知的障害児を日々保護者のもとから通わせ、集団的及び個別的な日常生活指導などの訓練を行い、児童の発達を促進し、自立生活に必要な支援をすることを目的とした通園施設です。

I 利用状況の推移 (単位：人)

年度	実 人 員	延 人 員
23	37	429
24	37	399
25	37	420

II 障害及び年齢の状況 (単位：人)

年度	実人員	障 害 の 状 況			年 齢 の 状 況			
		軽度	中度	重度	3歳未満	3歳児	4歳児	5歳児
23	37	15	15	7	0	16	10	11
24	37	17	16	4	2	18	8	9
25	37	22	10	5	3	19	10	5

III 退園後の進路 (単位：人)

年度	保 育 園	幼 稚 園	普通学級	特別支援学級	特別支援学校	入所施設 転出等	計
23	10	0	0	6	4	1	21
24	12	1	0	3	5	3	24
25	12	3	0	1	4	2	22

③ 心身障害児への療育相談

在宅障害児のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、施設の有する機能を活用し、相談及び療育等を行います。

障害児(者)相談支援事業の状況 (単位：件)

年度	外 来 相 談				訪問相談 件 数	施設支援 指導件数	合 計
	医 師	理学療法	療育参加	小 計			
23	0	183	1,075	1,258	110	45	1,413
24	0	125	860	985	90	52	1,127
25	0	113	985	1,098	39	42	1,179

④ ことばと発達の相談室

発達やことばに障害のある児童の専門的な相談、指導訓練の施設として昭和51年10月に開設。言語聴覚士と心理士が、発達やことばの遅れ、発音の異常（構音障害）、口蓋裂、難聴、吃音などの障害のある児童に、検査、評価、助言指導を行い、必要に応じ指導訓練をしています。

相談ケース状況 (単位：件)

年度	訓 練	相 談	新 規	計
23	1,137	811	218	2,166
24	1,107	1,010	196	2,313
25	987	802	222	2,011

12. 各種福祉手当

身体障害者手帳1～4級の者、療育手帳④₁～B₂の者及び児童相談所又は更生相談所に中度以上と判定された者に対して各手当を支給しています。

(1) 特別障害者手当等

年 度	人 数	月 額	支 給 総 額
23	266人	26,340円 (26,440円) 14,330円 (14,380円)	59,813,220円
24	264人	26,260円 (26,340円) 14,280円 (14,330円)	63,397,860円
25	259人	26,080円 (26,260円) 14,180円 (14,280円)	62,896,920円

※ () 内は改定前の手当額

(2) 八千代市重度心身障害者福祉手当

年 度	人 数	月 額	支 給 総 額
23	4,123人	2,500円 1,500円	106,943,500円
24	4,251人	2,500円 1,500円	110,727,000円
25	4,278人	2,500円 1,500円	113,382,500円

(3) 八千代市重度心身障害者介護手当

年 度	人 数	月 額	支 給 総 額
23	117人	6,150円	8,167,200円
24	131人	6,150円	9,009,750円
25	129人	6,150円	8,911,350円

(4) 八千代市心身障害児童福祉手当

年 度	人 数	月 額	支 給 総 額
23	433人	2,500円 1,500円	12,334,500円
24	445人	2,500円 1,500円	12,953,000円
25	436人	2,500円 1,500円	13,264,000円

(5) 難病者援護金支給事業

目的 難病者に対し援護金を支給し、生活の安定と福祉の増進を図ります。
 対象 指定疾病（77疾病）に罹病している者
 内容 入院療養者 月額 5,000円
 通院療養者 月額 2,500円
 生活保護受給者の入通院 月額 1,000円

年 度	人 数	給 付 額
23	1,321	31,563,500
24	1,245	25,747,500
25	1,289	36,948,500

13. 保健センター

保健センターは、市民の生活に密着した総合的保健サービスの拠点となる施設です。

施設の概要

所 在 地	開 設 年 月 日	建 物 面 積	構 造
ゆりのき台2-10	昭和60年10月1日	1,765.799㎡	鉄筋コンクリート造2階建

14. 保健事業

(1) 予防対策事業

① 感染症発生状況

単位：人

区分 年度	コレラ	細菌性 赤痢	腸チフス	パラチフス	急性灰 白髄炎	ジフテリア	腸管出血性 大腸菌感染症	計
23							1	1
24							11	11
25								0

(2) 成人・高齢者保健事業

成人・高齢者が健康でいきいきと暮らせるために、壮年期からの健康づくり、生活習慣病の予防などの保健活動を実施しています。

① 健康診査実施状況

単位：人

年度	区分	受診者数		保健指導区分別実施人員		
		健康診査		動機付け支援(1)	積極的支援(2)	計
23	生活保護受給者	120		2	1	3
	後期高齢者	4,350				
	特定健康診査	9,598		156	37	193
24	生活保護受給者	125		0	1	1
	後期高齢者	4,576				
	特定健康診査	9,561		138	24	162
25	生活保護受給者	146		2	4	6
	後期高齢者	4,758				
	特定健康診査	9,715		133	26	159

② 肝炎ウイルス検診実施状況

平成14年度よりC型肝炎等の総合対策の一環として、実施されるようになりました。

単位：人

年度	区分	C型肝炎ウイルス検査		B型肝炎ウイルス検査	
		受診者	陽性者	受診者	陽性者
23		593	1	593	7
24		555	1	555	1
25		565	2	565	7

③ 胃がん検診実施状況

単位：人

年度	区分	受診者数	精密検査受診者数	結果別人員			
				異常認めず	がんであった者	がんの疑いのある者	がん以外の疾患であった者
23		13,611	1,556	140	40	12	1,364
24		13,927	1,381	112	22	9	1,238
25		13,611					

④ 肺がん検診実施状況

単位：人

年度	区分	受診者数	精密検査受診者数	結果別人員			
				異常認めず	がんであった者	がんの疑いのある者	がん以外の疾患であった者
23		17,974	666	256	12	15	383
24		18,036	631	233	13	19	366
25		18,049					

⑤ 大腸がん検診実施状況

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	16,982	723	197	44	10	472
24	17,167	817	219	43	7	548
25	17,177					

⑥ 乳がん(マンモグラフィ) 検診実施状況

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	5,843	354	157	14	6	177
24	5,552	407	211	14	17	165
25	6,070					

乳がん(超音波) 検診実施状況

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	1,331	56	2	0	0	54
24	1,180	41	12	0	0	29
25	1,137					

⑦ 子宮がん検診実施状況(頸部)

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	6,896	87	21	2	6	58
24	7,088	98	15	6	9	68
25	7,657					

子宮がん検診実施状況(体部)

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	546	20	11	2	1	6
24	470	12	7	1	0	4
25	545					

⑧ 前立腺がん検診実施状況

単位：人

区分 年度	受診者数	精密検査 受診者数	結 果 別 人 員			
			異常認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者	がん以外の 疾患であった者
23	6,365	215	44	27	37	107
24	6,407	187	38	24	30	95
25	6,367					

⑨ 成人歯科健康診査

う歯及び歯周疾患発見のため、40歳以上の市民を対象に歯科医院で健診を実施し、受診者は2,544人でした。

⑩ 在宅訪問歯科健康診査

寝たきり状態又は寝たきりに準ずる者に対し、口腔状態の改善を図るため、歯科医師による訪問歯科健診を実施し、受診者は1人で、うち要治療者は1人でした。

⑪ 健康教育

高齢者の健康づくり・介護予防等の健康教育や生活習慣病予防講座など、幅広い年齢層への啓発活動を実施しています。(まちづくりふれあい講座を含む)

区分 年度	開催回数	延参加人数
23	270回	7,371人
24	332回	8,080人
25	366回	8,320人

区分 年度	再掲(国保特別会計分)	
	開催回数	延参加人数
23	18回	377人
24	22回	497人
25	24回	504人

⑫ 健康相談

生活習慣病の予防を図るため、保健師・栄養士・歯科衛生士による健康相談・栄養相談・歯科相談等を実施しています。

⑬ 訪問指導

日常生活が不自由な者及びその家族からの相談に基づいて、保健師・理学療法士・歯科衛生士・栄養士が自宅を訪問し、健康管理や介護などについての情報提供、相談業務を実施しています。

区分 年度	訪問実数	延訪問人数
23	34人	87人
24	61人	106人
25	55人	118人

(3) 結核予防事業

結核検診(胸部レントゲン検査)

(単位:人)

区分 年度	受診者数	内 訳					精密 受診 検査 数	内 訳				
		異常 なし	要 精 査	要 観 察 過	治 療 病 変	そ 疾 の 他 の 病		結 核 療	要 観 察 過	治 療 病 変	そ 疾 の 他 の 病	異 常 なし
23	17,985	13,813	746	413	2,924	89	667	2	19	12	364	270
24	18,046	13,764	720	470	2,924	168	632	3	21	12	358	238
25	18,051	14,161	817	403	2,545	125						

(4) 予防接種事業

高齢者インフルエンザを予防接種法に基づき実施

(単位:人)

年 度	23	24	25
インフルエンザ接種者数	20,895	21,457	22,517

(5) 八千代市第2次健康まちづくりプランの推進（健康づくり課・母子保健課）

・八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会の設置

推進・評価委員会2回、すこやか親子部会2回、はつらつ成年部会2回、いきいき高齢者部会3回を開催し、実績報告・今後の取り組み等について協議した。

・世代毎の主な取り組み

① すこやか親子世代

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

a) 子育てしやすいまちづくりについて

地域の現状や特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、地域会議（情報交換会）にて関係機関や住民組織と共に、各地区における子育ての現状等の情報交換及び課題の検討を行った。

b) 子どもの食育に関する取り組み

ア やちよ食育ネットワーク協議会

・農業生産者との連携で実施する食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を開始。企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」が実施した。今年度実施数16校。

・会議開催 協議会2回、分科会3回

・広報紙「やちよ食育マガジン」の発行 2回（第19、20報）

イ 母子保健・子育て支援事業等での食育

・妊娠期の食育・・・プレママ教室での食育

・乳児期の食育・・・4か月児・10か月児赤ちゃん広場事業での食育

・幼児期の食育・・・地域子育て支援センター（もうすぐ1歳半おやこ広場、みんなで食育事業、子育て応援ポケット事業）での食育、公民館事業・子育て自主サークルと連携での食育

c) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の取り組み

ア 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催 5回 作業部会 2回

イ 八千代市思春期保健シンポジウムの開催 1回

・開催日等 平成26年2月2日（日）八千代市総合生涯学習プラザ

・テーマ 「10代の生と性」Ⅶ

オヤジも聞こう バック・トゥ・ザ・思春期！～男子のこころとからだ～

・参加者 109名

ウ 広報紙「思春期保健ネットワークニュースレター」の発行 1回(第12報)

エ 八千代市オリジナル生と性の教育教材の周知と配布及び効果測定

② はつらつ成年世代

「健康づくりを地域みんなで取り組みます」

a) 食を通じた健康づくりとして、市民が外食の際に野菜たっぷり健康に配慮した食事が食べられるよう、「八千代市野菜たっぷりヘルシーメニューコンテスト」の平成26年度開催に向け、準備をすすめた。

b) たばこ対策として、市内保育園(19園)、幼稚園(5園)の5歳児を対象に、各園の協力を得て、保育士等による喫煙防止教育の紙芝居を実施した。また、健康への影響や禁煙支援に関してホームページに掲載すると共に、各種講座や子育て教室等でチラシを配布した。

c) 情報発信として、「旬の野菜レシピと健康情報」をJA八千代市農産物直売所・やちよ農業交流センター・八千代ふるさとステーションで配布した。また、気軽な運動手段として「階段は無料の健康器具！」と題したポスターを健康増進普及月間である9月に東葉高速鉄道の市内4駅等に掲示した。

③ いきいき高齢者世代

「運動をきっかけとした住民主体の健康づくりに取り組みます」

- a) 運動の推進として、やちよ元気体操を活用した運動教室を市内2地区で開催した。
さらに、平成25年度からは男性の運動習慣や地域活動への参加を促進する「男塾」を開催した。併せて、身近な地域で住民同士が運動を続けられるように、やちよ元気体操応援隊（以下、応援隊）養成講座の実施と自主活動を支援した。1コース3回の応援隊養成講座を6コース実施し、応援隊による自主活動は市内27グループとなった。（内9グループは平成25年度に新たに発足）
- b) 健康づくりの普及啓発として、運動、食生活、歯と口腔等に関する各種講座を実施した。
高齢者の健康づくり講座数 115件 3,144人
- c) 地域活動の促進として、地域活動に関する情報提供用リーフレットを作成した。

・歯と口腔の健康づくりの取り組み

八千代市第2次健康まちづくりプランは、平成24年6月に制定した「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」第7条に規定する計画を兼ねたものとなっており、以下の歯と口腔の健康づくりに関する取り組みを推進した。

- a) 八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議を設置
全体会1回、母子部会2回、成人高齢者部会2回の合計5回開催。
- b) 歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発
 - ・各種歯科保健事業における情報提供
 - ・広報番組やちよNAVi「やっちと学ぶ“フッ素で”むし歯ゼロプロジェクト」放映
- c) 定期的な予防管理の推進
 - ・各種歯科健康診査を実施。
 - ・幼稚園・保育園・小中学校において「歯科健診結果のお知らせ」「歯科保健情報リーフレット」を活用。

15. 国民健康保険

国民健康保険は、市民の健康と生活を守るため、健康保険組合、共済組合等に加入していない方のための保険制度です。本市では、昭和24年9月から陸地区にて国保事業が開始され、昭和29年に阿蘇地区、昭和33年には大和田地区と八千代市全域において実施されるようになり、現在に至っています。

(1) 国民健康保険加入状況

区分	全市		国民健康保険		加入率	
	世帯数	人口	世帯数	被保険者数	世帯	被保険者
平成23年度	81,145	192,884	29,407	50,436 (1,792)	36.24%	26.15%
平成24年度	81,930	192,951	29,338	49,964 (2,329)	35.81%	25.89%
平成25年度	82,634	193,332	29,280	49,245 (2,166)	35.43%	25.47%

() 内は、退職被保険者等数

(2) 国民健康保険料(現年度分)の状況

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	医療分	支援金等分	介護分	医療分	支援金等分	介護分	医療分	支援金等分	介護分
料	5,977/100	1,40/100	1,30/100	5,977/100	1,40/100	1,30/100	5,977/100	1,40/100	1,30/100
均等割額	27,100円	6,200円	10,900円	27,100円	6,200円	10,900円	27,100円	6,200円	10,900円
率	26,300円	6,100円	—	26,300円	6,100円	—	26,300円	6,100円	—
負担	510,000円	140,000円	120,000円	510,000円	140,000円	120,000円	510,000円	140,000円	120,000円
保険料状況	128,355円	30,115円	—	126,496円	29,674円	—	125,513円	29,442円	—
1人当たり調定額	74,838円	17,559円	20,015円	74,276円	17,424円	20,034円	74,627円	17,506円	20,486円
保険料収納率	87.65%	87.78%	84.89%	87.58%	87.69%	84.22%	87.77%	87.89%	83.81%
保険料収納率(全体)	87.48%			87.37%			87.52%		

(3) 国民健康保険事業特別会計決算額

区分	年度		23	24	25
	件数	金額			
歳入決算額			19,018,436,078円	18,615,228,304円	19,012,411,361円
うち一般会計繰入額			1,422,306,073円	849,547,865円	898,477,675円
歳出決算額			18,657,587,948円	18,322,732,457円	18,815,778,274円

(4) 国民健康保険費用額状況

年度	総数		一般被保険者分		退職被保険者分		療養者等分	
	件数	金額 千円	療養の件数	療養の金額 千円	療養の件数	療養の金額 千円	療養の件数	療養の金額 千円
23	801,193	15,098,118	742,019	14,193,077	33,868	646,921	1,052	10,026
24	803,498	14,787,824	738,339	13,837,420	40,117	699,432	963	9,543
25	802,503	15,207,242	727,200	13,994,208	51,079	976,617	952	10,763

(5) 国民健康保険給付状況

年度	総数		高額療養費		高額介護合算療養費		出産育児一時金		葬祭費	
	件数	金額 千円	件数	金額 千円	件数	金額 千円	件数	金額 千円	件数	金額 千円
23	19,002	1,359,579	18,436	1,240,565	19	728	254	103,636	293	14,650
24	19,785	1,351,621	19,233	1,237,679	19	440	236	98,652	297	14,850
25	20,833	1,358,449	20,352	1,256,233	20	552	215	89,364	246	12,300

(6) 高額療養費支給事業

病気やけがなどのため、同じ人が同じ月内に同じ医療機関で保険診療を受け、その医療費の自己負担額が、自己負担限度額(下表参照)を超えた場合、超えた分を国民健康保険が負担します。

なお、入院時の食事代、保険のきかない差額ベット代などは、高額療養費を算定する自己負担限度額には含まれません。

※ 平成18年10月改正

70歳未満の人の1か月の自己負担限度額

所得区分	3 回 目 ま で	4 回目以降
上 位 所 得 者	150,000円 (医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)	83,400円
一 般	80,100円 (医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)	44,400円
住 民 税 非 課 税 世 帯	35,400円	24,600円

※ ただし、同一世帯内で、同じ月内に21,000円(住民税非課税世帯も同額)以上の自己負担額を2回以上支払った場合は合算します。

70歳以上の人の1か月の自己負担限度額

所得区分	外 来 + 入 院 (世帯単位)	
	外 来 (個人単位)	
現 役 並 み 所 得 者	44,400円	80,100円 (医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算) 過去12か月以内に外来+入院の自己負担限度額を超えた高額療養費の支給が4回以上あった場合、4回目以降は44,400円に下がります。
一 般	12,000円	44,400円
低 所 得 者 II	8,000円	24,600円
低 所 得 者 I	8,000円	15,000円

(7) 高額療養費貸付事業

国民健康保険の被保険者が、高額な医療費の支払いで困ったときに資金を無利子でお貸しします。

○対 象 国民健康保険料を完納している、前記の高額療養費の支給要件に該当する世帯で、医療機関への支払いが困難な場合

○貸 付 額 高額療養費として支給が見込まれる額の9割まで

高額療養費貸付状況

区 分 \ 年 度	23	24	25
総 医 療 費	87,758,100円	75,208,820円	35,694,490円
貸 付 金 額	18,150,000円	14,689,040円	6,690,000円
件 数	113件	100件	45件
実 人 数	47人	58人	29人
1 件 当 た り の 平 均 貸 付 金 額	160,619円	146,890円	148,667円
1 人 当 た り の 平 均 貸 付 金 額	386,170円	253,259円	230,690円
1 件 当 た り の 最 高 貸 付 金 額	1,270,000円	664,000円	366,000円

(8) 短期人間ドック助成事業

短期人間ドックを利用する場合に、その検査費用の一部を助成することにより疾病の予防、早期発見及び早期治療に役立て、被保険者の健康保持増進を図ることが目的です。

- 対 象
- ・八千代市の国民健康保険に1年以上継続して加入している満35歳以上の人
 - ・納付期限の到来している国民健康保険料を完納している世帯に属している人
 - ・同一年度内に人間ドックの助成を受けていない人
 - ・同一年度内に特定健康診査を受診していない人(人間ドックと同時実施となるため)

○検査内容と利用者負担割合

今まで医療機関が定めていた基本検査の代わりに、特定健康診査を必ず受診します。特定健康診査の検査費用額（詳細な検査を受けた場合はその検査費用額）と人間ドックの検査費用額を合わせて42,000円を助成対象上限額とし、検査費用額の3割(人間ドック実施年度4月1日時点で40歳の方は1割)が利用者負担となります。なお、助成対象上限額を超えた場合は、自己負担となります。

○受検状況

区 分		年 度		
		23	24	25
基本検査	1日コース	537人	580人	860人
	1泊コース	7人	5人	6人
	合 計	544人	585人	866人
追加検査	子宮がん	40人	49人	77人
	乳 がん	71人	81人	148人
	眼 科	18人	14人	22人
	腹部検査	67人	52人	53人
	血液検査	85人	86人	144人
	頭 部	184人	221人	394人
	そ の 他	98人	115人	211人
	延 人 数	563人	618人	1,049人

- ※ 基本検査 2日コースは1泊コースに含む。
追加検査 平成17年度から医療機関が定める項目を選択。

16. 国民年金

国民年金は、20歳以上60歳未満のすべての人が加入し、高齢者の生活を支える「基礎年金」を支給し、給付に必要な費用は世代間扶養の考えを基本に、社会保険方式で運営している制度です。

国民年金第1号被保険者に係る適用、免除、給付の受理や窓口・電話相談の中で年金制度等の周知を図り、未加入者、未納者及び無年金者の解消に努めています。

(1) 拠出年金

① 加入状況

年度	区分	第1号被保険者		第3号被保険者	計
		強制加入者	任意加入者		
23		24,825人	504人	18,968人	44,297人
24		24,468人	470人	18,616人	43,554人
25		24,129人	413人	18,381人	42,923人

② 給付状況

年度	区分	老齢基礎年金	老齢年金	通算老齢年金	障害基礎年金	障害年金	遺族基礎年金	寡婦年金	特別障害給付金	計
		人	人	人	人	人	人	人	人	人
23		35,302	926	834	1,771	42	313	39	12	39,239
24		37,549	811	764	1,811	38	289	32	12	41,306
25		39,667	695	675	1,886	31	270	31	11	43,266

(2) 福祉年金

給付状況

年度	区分	老齢福祉年金
23		7人
24		6人
25		4人